

複数監視領域における一次元的表示インタフェース

今村圭子*

One-dimensional Display Interface in Monitoring Multiple Areas

Keiko Imamura

要旨

近年凶悪犯罪が増加するとともに、慎重な取扱いが求められる各種情報が侵入・盗難、違法行為などによって漏洩(ろうえい)する事件が頻繁に発生している。そのためセキュリティシステムの適用分野も広がりを見せており、外部からの侵入者対策を検討する教育機関や、医療機関・金融機関などのように、物や各種情報を監視対象とする分野も増加しつつある。また、人件費削減の観点からセキュリティシステム導入への移行が検討されることも多く、現場では一般ユーザーが操作を担うケースも多い。

こうした背景から、システムの高度化に伴い複雑になりがちな操作について、ユーザー視点に立脚し検討することで、監視業務の基本的な操作手順についてわかりやすく使

いやすい、一元的表示インタフェースを開発した。

監視操作では、警報発令とともに、いつ、どこで、どのようなことが起きたかを即座に把握し、その内容の詳細を確認することで、適切な対応措置をとることが求められる。こうした確認に必要となる情報を同一画面内に表示し、比較参照を可能とした。また、全監視領域内における警報の発生場所を視覚的に容易に把握できる3Dビューアを採用するとともに、監視対象である人や物、扉や監視ポイントに紐(ひも)付けられた監視カメラをアイコンで表示することによって、それぞれの状態を直感的に把握することが可能となった。



トータルセキュリティシステムにおけるユーザーインタフェース

入退室管理システムと映像監視システムの統合によるトータルセキュリティシステム製品に向けた、ユーザー視点に立脚したわかりやすく使いやすいユーザーインタフェースである。監視操作手順と画面の内容表示構成を一致させるとともに、監視業務に必要な情報を同一画面内に表示することで、状況把握を容易にし、合わせて操作性を向上させた。